

クラス番号	242	ゼミタイプ	地域研究型
		担当教員名	小松 理佐子
テーマ	人口減少社会への挑戦—「地域お助け隊」結成！		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

人口減少と高齢化の進行で、地域の担い手不足が深刻になっています。そのために伝統的な地域の行事が続けられない、高齢者クラブなどの団体のリーダーが見つからない、支援が必要な人を支える民生委員・児童委員のなり手がいないなど、地域では様々な課題が生まれています。それによって、これまでの地域が維持できなくなっているところもみられます。そうした地域は、これからさらに増えると予測されています。

このような状況を踏まえて、このゼミでは、地域を支えるための「お助け隊」を結成し、人口減少が進行し様々な課題に直面している地域をお手伝いするための活動をします。それを通して、人口が減少する地域であってもいきいきと暮らし続けることのできるしくみづくりを研究します。

具体的には、人口減少地域の様々な活動事例を学びます。合わせて、日本福祉大学と提携する山形県最上町、地元の南知多町の住民との交流や、PR活動などを行います。

授業計画：

- 4月～5月 ○愛知県豊田市では、地域住民による「お助け隊」という会があり、住民の困りごとを助ける活動をしています。豊田市の「お助け隊」の活動から、「お助け」のポイントを学びます。
○南知多町では、まちづくり協議会による地域活動が行われています。まちづくり協議会の活動から、地域再生のポイントを学びます。
- 6月～7月 ○山形県最上町についての事前学習をします。
- 8月 ○山形県最上町を訪問し、地域の魅力を調査します（希望者のみ、参加費1万円）。
- 9～11月 ○大学祭で、山形県最上町の特産品の紹介など、町を知ってもらうための取り組みをします。そのための準備をします。
- 11月～1月 ○名古屋市市内にある STATION Ai を訪問し、社会課題を解決するための事業を生み出す方法を学びます（希望者のみ）。
○ゼミのまとめとして、山形県最上町への提言を行います。

※上記の他、地域から「お助け」を要請されたら、出かけていきます。

担当教員からのメッセージ



山形県最上町の絆大使をしています。外から見ると人口が減少している地域はたいへんそうに見えるかもしれませんが、実際の最上町のみなさんは、いきいきと楽しく暮らしています。こうした町の魅力、地域づくりの楽しさをみなさんに伝えたいと思っています。

卒業後、地元に戻って、「人口が減少する地元を支えたい」と考えている人を、歓迎します。